1 最大離陸重量 W_{TO} , 空虚重量 W_E , 燃料重量 W_F の見積もり

 W_{TO} は、定義式

$$W_{OE} = W_E + W_{tfo} + W_{crew} + W_{OP} \tag{1}$$

定義式から導出される式

$$W_{OE} = W_{TO} - (1 - M_{ff})W_{TO} - W_{Fres} - W_{PL}$$
(2)

統計関係式

$$\log 10W_{TO} = A' + B' \log 10W_{OE} \tag{3}$$

ただし,
$$A' = 0.4736 B' = 0.9656$$
 (4)

の3式を用いて算出できる.

1.1 Mission fuel fraction M_{ff} の見積もり

 M_{ff} を見積もる. 飛行フェーズを下図のように設定する.

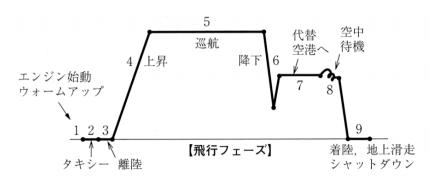


図1 飛行フェーズ

各フェーズでの重量比を,

$$\left(\frac{W_1}{W_{TO}}, \frac{W_2}{W_1}, \frac{W_3}{W_2}, \frac{W_4}{W_3}, \frac{W_6}{W_5}, \frac{W_9}{W_8}\right) = (0.990, 0.990, 0.995, 0.980, 0.990, 0.992) \tag{5}$$

と仮定し、巡行、代替空港への巡行、空中待機のフェーズではブレゲーの式より、

$$\frac{W_5}{W_4} = exp\left(-\frac{R}{\frac{V}{C_j}\frac{L}{D}}\right)$$

$$\frac{W_7}{W_6} = exp\left(-\frac{R_{alt}}{\frac{V_{alt}}{c_{jalt}}\frac{L}{D_{alt}}}\right)$$

$$\frac{W_8}{W_7} = exp\left(-\frac{E_{ltr}}{\frac{1}{c_{jltr}}\frac{L}{D_{ltr}}}\right)$$
(6)

である。設計要求から、

$$R = 7500 \ [nm]$$

$$R_{alt} = 200 \ [nm]$$

$$V = M0.8 \times 574 \ [kt] = 459.2 \ [kt] at 38000 \ [ft]$$

$$V_{alt} = 300$$

$$\frac{L}{D} = \frac{L}{D_{alt}} = 20$$

$$c_{j} = c_{jalt} = 0.5 \ [(Ib/hr)/Ib]$$

$$E_{ltr} = 0.75 \ [hr]$$

$$\frac{L}{D_{ltr}} = 23$$

$$c_{j_{ltr}} = 0.4$$

$$(7)$$

となる。よって、

$$\begin{cases} \frac{W_5}{W_4} = 0.692\\ \frac{W_7}{W_6} = 0.990\\ \frac{W_8}{W_7} = 0.987 \end{cases}$$
(8)

となり、

$$M_{ff} = \frac{W_9}{W_8} \cdot \frac{W_8}{W_7} \cdot \frac{W_6}{W_6} \cdot \frac{W_6}{W_5} \cdot \frac{W_5}{W_4} \cdot \frac{W_4}{W_3} \cdot \frac{W_3}{W_2} \cdot \frac{W_2}{W_1} \cdot \frac{W_1}{W_{TO}} = 0.63$$
 (9)

となる。

1.2 ペイロード重量 W_{PL} , 乗務員重量 W_{crew} の見積もり

乗客の割合をエコノミークラス 352 名, ビジネスクラス 42 名, ファーストクラス 26 名の総員 420 名とし、キャビンアテンダントを 15 名, パイロット 2 名とする。計算により,

$$\begin{cases}
W_{Pl} = 420 \times 175[Ibs] + 352 \times 44[Ibs] + (42 + 26) \times 66[Ibs] = 93476[Ibs] \\
W_{crew} = (15 + 2) * (175 + 30)[Ibs] = 3485[Ibs]
\end{cases} (10)$$

となる。

1.3 最大離陸重量 W_{TO} の見積もり

最大離陸重量 W_{TO} から計算される W_{OE} と $W_{OE_{tent}}$ の差が最小になるような W_{TO} を決定する。代替空港も空中 待機も飛行フェーズに含んでいるので、 $W_{Fres}=0$ としてよく、

$$W_F = W_{Fused} = (1 - M_{ff})W_{TO} - W_{PL} \tag{11}$$

となる。また,式(2)より

$$W_{OE_{tent}} = W_{TO} - (1 - M_{ff})W_{TO} - W_{PL}$$
(12)

よって

$$W_{E_{tent}} = W_{OE_{tent}} - W_{crew} \tag{13}$$

さらに、式(3),(4)より、

$$W_E = 10^{\frac{\log_{10} W_{TO} - A'}{B'}} \tag{14}$$

 W_E と $W_{E_{tent}}$ の差が小さくなるように W_{TO} の探索を行った. すると

$$W_{TO} = 896000[Ibs] (15)$$

の時、

$$\begin{cases} W_{E_{tent}} = 471952[Ibs] \\ W_{E} = 471943[Ibs] \end{cases}$$
 (16)

となり、収束した.